

『知的世界が広がる世の中のふしぎ400』

川崎市立宮前平小学校二年

榎野^{かしの}

結咲^{ゆい}

わたしがこの本を読んでふしぎに思った話は「さばくでおぼれる人がいる。」です。さばくには雨がすこしかふらないイメー
ジだけど、どうしてこう水がおきるのだろう
と思いました。

でも、この本を読んでりゆうがわかりました。さばくのすなはかわききって、かたくな
っているので、雨がふると、雨水はすなに
みこむことなくひくいところにむかってなが
れおちるからです。

もし、わたしがさばくに行くことがあったら、高いぼしよでねたぼうがいいなと思いま
した。このことを知らずに下でねている人が
いたら、声をかけてあげたいです。

ほかに、さばくについて知ったことは、ラ
クダは食いだめができることです。ラクダの
こぶの中にはしぼうがたくわえてあって、ご
はんがないときに、エネルギーにかえられま
す。にんげんにもそんなことができたら、さ
いがいのときに食べものがなくなっても、な
ん日かはこまらないし、大じょうぶだと思
いました。

この本はいろいろな知りたいたいことがの
っているとてもいい本です。
みんなも知りたいことがあったらぜひ読
んでみてください。